

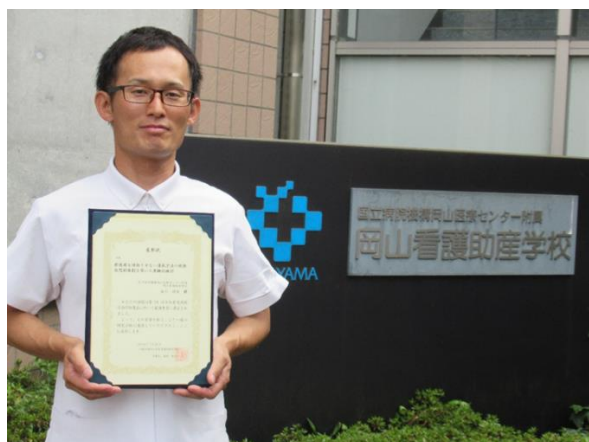
学術集会最優秀賞を目指そう！

一般社団法人日本看護技術学会では、会員皆様の研究活動の推進、奨励を目的に、学術集会で発表された一般演題（口演・示説）から、学術集会優秀演題を数件とそこから学術集会最優秀賞を選出させていただいています。学術集会優秀演題に選ばれますと本会ホームページとニュースレターで公表されます。学術集会最優秀賞者には、翌年の学術集会時に表彰式が行われ、賞状と記念品が授与されます。是非とも学術集会最優秀賞を目指して、発展性・新規性のある研究活動に取り組んでください。

2020年度は COVID-19 のため学術集会が延期となりましたが、2021年には第19回学術集会が開催される予定ですので、是非ともご参加ください。

【選考基準】：a. 学術集会プログラム委員による内容の新規性（独創性）、抄録原稿の完成度、b. 一般演題座長による内容の新規性、研究の完成度、発表の分かりやすさ（時間・話し方）、質疑応答時の対応を審査し、a, b のもと研究活動推進委員会で候補者を挙げ、理事会にて決定を行う。

第18回学術集会最優秀賞受賞者の石川涼太さんには、本会より賞状と記念品（クリスタル置き時計）が授与されました。受賞誠にありがとうございます。



第18回学術集会最優秀賞受賞者
石川涼太さん（独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校）

石川涼太さんからのメッセージ

このたびは第18回日本看護技術学会学術集会において名誉ある最優秀賞を賜り、大変光栄に存じます。懇篤なるご指導をいただいた深井喜代子教授をはじめ、ご協力いただいた対象者の皆様方、2年間の研究休職にご理解いただいた所属施設の皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。受賞研究は岡山大学大学院で取り組んだ修士論文であり、健常者を対象に術後の痛みを増強させない清拭方法を考案しました。今後は、本受賞を励みとして、臨床現場における介入研究に取り組みたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

一般社団法人日本看護技術学会
研究活動推進委員会（2020.10.14）